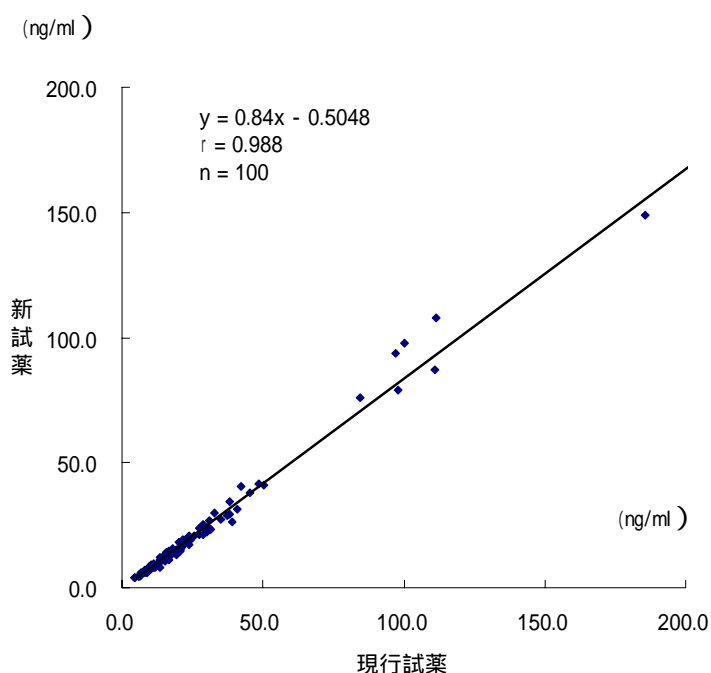


プロラクチン

高プロラクチン血症には、プロラクチンに対する自己抗体とプロラクチンが結合したマクロプロラクチンが血中に多量に出現している状態、いわゆるマクロプロラクチン血症が含まれています。マクロプロラクチン血症のほとんどは無症候性で臨床的に治療の必要のないものですが、現行の免疫測定系ではこのマクロプロラクチンを測り込んでしまうため、高マクロプロラクチン検体を測定した際に偽高値を呈します。弊社使用の測定試薬「エクルーシス試薬プロラクチン」につきましても、この偽高値が確認されているため、この度マクロプロラクチンに対する反応性を改良した「エクルーシス試薬プロラクチン」へ測定試薬を変更させていただきます。

また、現行試薬および新試薬はともに、WHO 3rd I S 84/500 を 1 次標準品として値を設定しておりますが、ヒト検体を用いた相関性試験を行ったところ、現行試薬に比べ測定値が約 20% 低値化することが確認されました。よって、基準値の変更も併せてご案内申し上げます。

現法と新法の比較



新検査方法参考文献 高加 国夫、他：医学と薬学 56(4)：577～586，2006